45 01 09 01 01 006

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	救急活動推進事業	担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	4511
第2次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
計画施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	救急救命士法				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	傷病者の救命率向上を目的とした、救急救命士への病院実習、救急研修及び教育訓練を実施することで、資質能力の向上が図られ、質の高い救急サービスを市民へ提供するものである。
目的 ※何のために	質の高い救急サービスの提供のため。
対象 ※誰・何を対象に	救急救命士。
手段 ※どのように	病院実習、救急研修及び教育訓練を実施。
成果 ※何を求めるか	救急救命士を含む救急隊員の資質向上を図る。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	01	常備消防費	救急活動推進事業	3,084,904
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 指導救命士養成研修
- 救急救命士再教育病院実習
- 救急救命士気管挿管病院実習
- 救急救命士薬剤投与病院実習
- 救急救命士就業前病院実習
- 医療廃棄物処理委託
- 埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会負担金の支出
- 救急救命士ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習
-
-
-
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画					寄居町負担金 関越自動車道救急業務支弁金		
事業費	予算（現額）	3,278,000	3,330,000	3,160,000	2,870,000	3,340,000	
	決算額	3,107,353	3,218,827	3,084,904	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	1,135,000	1,230,000	1,187,000	1,025,000	892,000	
	一般財源	1,972,353	1,988,827	1,897,904	1,845,000	1,907,000	
人件費	従事職員数（人）	1.15	1.15	1.05	0.95	0.95	
	人件費相当試算 ※1	8,945,850	8,949,300	8,254,050	7,740,600	7,740,600	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		12,053,203	12,168,127	11,338,954	10,610,600	10,539,600	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	薬剤投与病院実習数	目標値	回	3.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		4.00	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		薬剤投与の座学終了者数により目標値を設定							
		病院実習数									
□	活動指標２	気管挿管病院実習数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定							
		病院実習数									
■	成果指標１	薬剤投与認定救命士数	目標値	人	60.00	64.00	66.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		60.00	64.00	66.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定							
		資格取得者数									
■	成果指標２	気管挿管認定救命士数	目標値	人	17.00	19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		17.00	19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救急救命士の各認定・登録状況により目標値を設定							
		資格取得者数									
□	成果指標３	救急医療情報システムアクセス用情報機器端末使用率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全ての救急活動に有効に使用できるよう目標値を設定							
		使用回数／救急出動件数									
□	効率指標１	救急隊員１人あたりにかかる費用	目標値	千円							■
			実績値		219.00	225.00	209.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		社会的背景も影響するため、目標値は設定できない。							
		総事業費／救急隊員									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 救急救命士の救急救命処置に必要な生涯教育である、病院実習が計画どおり実施できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 対象救急救命士が病院で実習することにより、各救急救命処置の認定資格を取得した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 内容により、実習経費が異なるため目標値設定できない。

評価者	救急管理係長　倉上　正

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	救急救命士の現場に則した「救急現場学」を主眼とする教育の企画、認定資格取得には医療機関での実習は不可欠であるため医療機関との連携体制を保持する。
達成状況 及び その効果	指導に特化した指導救命士が教育を担うことで、救急現場活動に沿った訓練等の企画・運営を実施できた。それにより、救急医療情報システムを活用した医療機関選定がより精度を増し行われたほか、救急救命士が現場で施行するための救急救命処置（気管挿管・薬剤投与等）認定資格を取得させることができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救急活動推進事業	担当課	警防課	担当係	救急管理係	管理番号	4511

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

救急救命士の救急救命処置認定資格や指導救命士を中心とした教育訓練を実施することで、市民に最善を尽くす救急サービスを提供し市民生活に寄与する。また、救急医療体制の充実化のため現状を維持していく必要がある。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

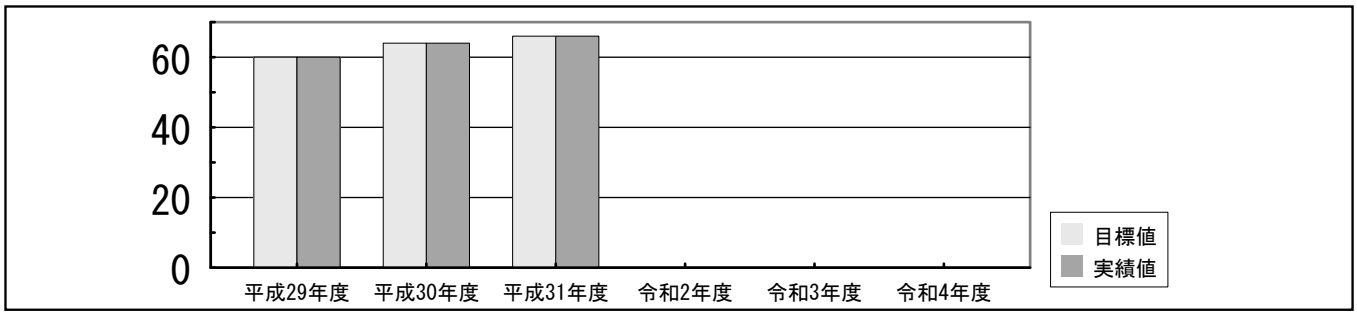
改善・改革案	救急救命士の現場に則した「救急現場学」を主眼とする教育の企画、認定資格取得には医療機関での実習は不可欠であるため医療機関との連携体制を保持する。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

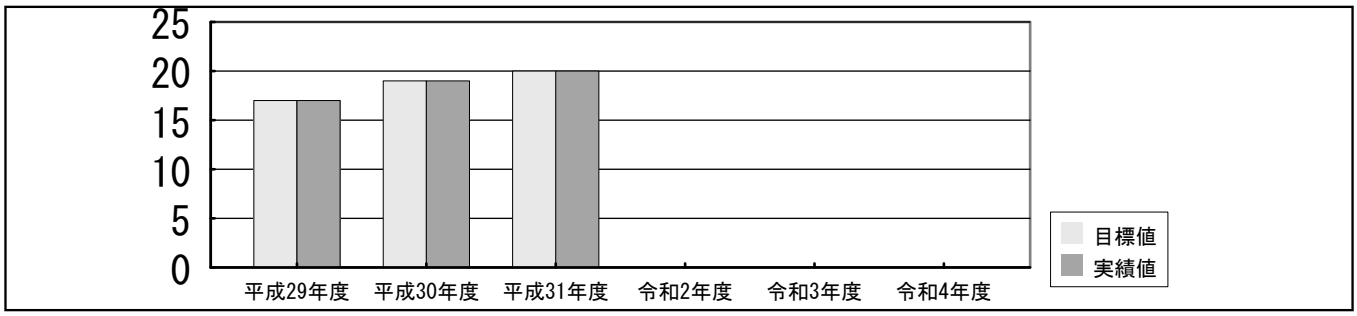
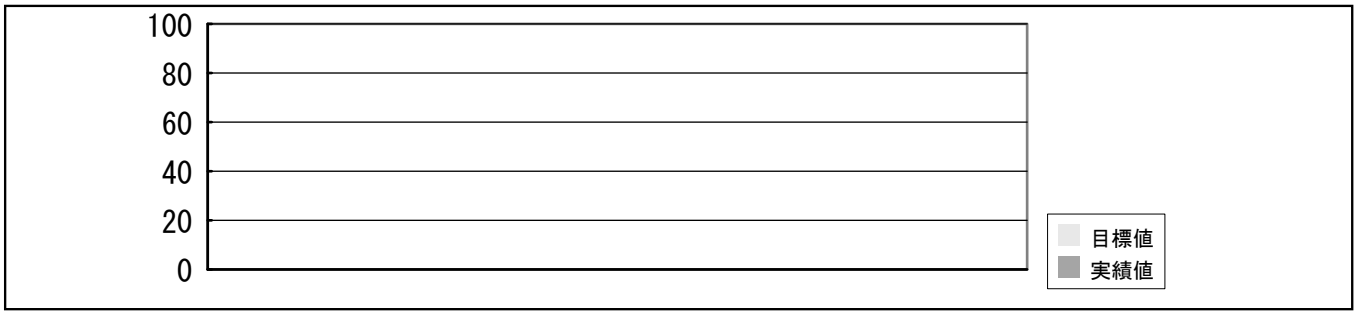
今後の課題	医療の知識、技術、概念が日々進歩している中、救急救命処置の拡大も踏まえて、救命率向上の観点から実習や教育を含めた救急医療体制の充実強化が重要な課題とされる。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	薬剤投与認定救命士数



区分	成果指標２	指標名	気管挿管認定救命士数



区分		指標名